

Sen'i Gakkaishi
(Journal of The Society of Fiber Science and Technology, Japan)

繊維学会誌

特集〈機能性マスク〉



2018 Vol.74 11

一般社団法人 繊維学会

東京農工大学大学院・生物システム応用科学府
生物機能システム科学専攻 物質機能設計分野
荻野 研究室（荻野 賢司 教授、兼橋 真二 特任助教）

〒184-8588 小金井市中町2-24-16 TEL&FAX: 042-388-7404

kogino@cc.tuat.ac.jp <http://web.tuat.ac.jp/~oginolab/>

研究分野：有機材料化学、高分子化学、機能材料

キーワード：環境機能材料、バイオベースポリマー、グリーンプラスチック

概要

持続可能社会の実現に貢献する機能性材料の設計・合成を行っています。例えば、未利用・非可食バイオマスの有効利用を目的とした新規な環境調和型のグリーンプラスチックの創出と高機能・高性能化による実用化を目指しています。これからの化石資源から再生可能資源へのパラダイムシフトに貢献します。

また地球環境改善に役立つ環境機能材料の創製にも取り組んでいます。

再生可能資源(バイオマス)の有効利用の必要性

再生可能資源(バイオマス)

- カーボンニュートラルなマテリアル
- 豊富な資源量(枯渇の恐れがない)
- 石油由来製品の代替原料



地球温暖化抑制、化石資源消費量の削減

機能性の付与

- 生分解性
- 高強度
- 抗菌性
- 耐熱性
- 耐候性
- 難燃性
- ガスバリア性
- 光学的透明性
- 化学的安定性 (耐薬品性)
- 生体適合性
- 易成形加工性

未利用・非可食バイオマスを原料とする機能材料の創出



機能性

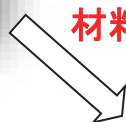


蛍光発光



液晶特性

材料特性



非可食バイオマス

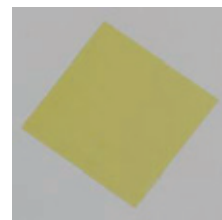
- 植物リグニン
- カシューオイル
- 天然漆(カテコール)
- キチン・キトサン
- セルロース など



熱硬化性樹脂



エラストマー



フィルム・塗料

数式・化学式・CAD・TEXに対応
学会誌・予稿集・抄録集などの制作や
印刷製本から関連用品まで
お客様の「困った」をお手伝いいたします



株式会社 北斗プリント社

HOKUTO PRINT CO.,LTD.
TOTAL PLANNER - FROM DESIGN TO PUBLISHING



〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町38-2
Tel:075-791-6125 Fax:075-791-7290
URL <http://www.hokuto-p.co.jp>

化学で
世界を育てよう。



「もっと夢を実現できないか。」
「もっと世の中を豊かにできないか。」
あふれる想いが、
三菱ケミカルを動かしつつけます。
人と社会と地球環境の
より良い関係を創るために、
私たちにできることは
まだまだ沢山あるはずだから。
さらなる高みをめざし、
まだ見ぬ景色を求め、
三菱ケミカルは化学の力で
世界を丁寧に育てていきます。

業界待望の入門書!!

基礎から最先端まで —
必携書 3冊が完成

業界マイスターに学ぶ せんいの基礎講座

監修：繊維学会

編集：日本繊維技術士センター

新JIS
洗濯取扱い表示記号等
改訂 第3版発行

JTCCの繊維技術士15名が伝承した
「せんい」のバイブル

繊維産業の全工程を一挙網羅

- 監修：一般社団法人 繊維学会
- 編集：一般社団法人 日本繊維技術士センター (JTCC)
- 体裁：A5判 428 ページ カバー巻き
- 定価：本体 3,000 円 + 税

新しい扉を拓く ナノファイバー

Sky-high Nanofibers in the Future

— 進化するナノファイバー最前線 —

八木 健吉 著

「ナノファイバー」の
今を知り、未来を創る!

ナノファイバーの“革新”に迫る最先端技術

- 著者：八木 健吉
(元 東レ(株)、一般社団法人 日本繊維技術士センター 副理事長)
- 体裁：A5判 200 ページ カバー巻き
- 定価：本体 2,500 円 + 税

最新刊 これだけは 知っておきたい 不織布・ナノファイバー用語集

● 著者：矢井田 修 / 山下 義裕 共著

- 体裁：B6判変形 250 ページ
- 定価：本体 2,500 円 + 税

● 発行：お申し込みは — HP / E-mail / 電話で



株式会社 繊維社 企画出版

〒541-0056
大阪府中央区久太郎町1-9-29 (東本町ビル5F)
Tel. (06) 6251-3973 Fax. (06) 6263-1899
E-mail: info@sen-i.co.jp https://www.sen-i.co.jp



繊維技術データベース開始しました

全商品リスト123点に拡充!!

入門・教育用に、新商品・新技術開発にご活用ください。



繊維学会誌

2018年11月 第74巻 第11号 通巻 第872号

目 次

時 評 “サステナビリティ”と繊維 荒西 義高 P-529

特 集 〈機能性マスク〉

ウイルス・細菌制御技術「Cufitec®」によるマスクの高機能化 藤森 良枝 P-530

高機能バイオミメティクスマスク「アレルキャッチャー」 築城 寿長 P-536

ナノファイバーを応用した薄く軽い N95 マスク 渡邊 圭 P-541

解 説 〈平成29年度繊維学会賞受賞者〉

電解質特性に優れるカーボネート型イオン伝導性高分子 富永 洋一 P-546

連 載 〈業界マイスターに学ぶ アパレル製品の基礎講座-9〉

総論 第8章「アパレルの表示と関連法規」 上田 良行 P-554

繊維学会創立70周年記念連載 〈技術が支えた日本の繊維産業-生産・販売・商品開発の歩み-62〉

アパレル編 2 和装から洋装に転換 松下 義弘 P-568

海外ニュースレター P-579



Journal of The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 74, No. 11 (November 2018)

Contents

Foreword

“Sustainability” and Fibers

Yoshitaka ARANISHI P-529

Special Issue on Functional Masks

Highly Functionalized Mask by the Antiviral and Antibacterial Technology,
“Cufitec®”

Yoshie FUJIMORI P-530

High Functional Biomimetic Mask “Allercatcher”

Hisanaga TSUIKI P-536

Nanofiber – Applied Thin and Light N95 Mask

Kei WATANABE P-541

Review

Carbonate-Based Ion-Conductive Polymers with Excellent Electrolyte Properties

Yoichi TOMINAGA P-546

Series on Apparel Basic Course Lectured by Professional Engineers–9

Apparel Indications and Related Regulations

Yoshiyuki UEDA P-554

Series of Historical Reviews of Japanese Textile Industry Supported by the Technology

–History of the Production, Sales, and Product Development–62

Apparel Part #2, Westernization of Japanese Clothes

Yoshihiro MATSUSHITA P-568

Foreign News Letter

P-579



Journal of Fiber Science and Technology (JFST)

Vol. 74, No. 11 (November 2018)

Transaction / 一般論文

❖ クリストバライト球状粒子充填エポキシ樹脂の曲げ特性

内藤 圭史・大谷 稜平・足立 善英・屋代 如月 221

Flexural Properties of Cristobalite Spherical Particle Filled Epoxy Resin

Keishi Naito, Ryohei Otani, Yoshihide Adachi, and Kisaragi Yashiro

繊維学会論文誌“Journal of Fiber Science and Technology (JFST)”

毎月の目次と抄録を繊維学会誌に掲載して参ります。本文はJ-Stageでご覧になれます。繊維学会のホームページ「学会誌・出版」から、また直接下記のアドレスにアクセスしてください。

英 語： <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/fiberst>

日本語： <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/fiberst/-char/ja/>

JFST はどなたでも閲覧は自由で認証の必要はありません。但し、著作権は繊維学会に帰属されます。

Journal of Fiber Science and Technology 編集委員

Journal of Fiber Science and Technology, Editorial Board

編集委員長 Editor in Chief	鬘 谷 要 (和洋女子大学大学院) Kaname Katsuraya	編集副委員長 Vice-Editor	塩 谷 正 俊 (東京工業大学大学院) Masatoshi Shioya
編集委員 Associate Editors	青 木 隆 史 (京都工業繊維大学大学院) Takashi Aoki	金 井 博 幸 (信州大学) Hiroyuki Kanai	上高原 浩 (京都大学大学院) Hiroshi Kamitakahara
	河 原 豊 (群馬大学大学院) Yutaka Kawahara	北 岡 卓 也 (九州大学大学院) Takuya Kitaoka	木 村 邦 生 (岡山大学大学院) Kunio Kimura
	久保野 敦 史 (静岡大学) Atsushi Kubono	澤 渡 千 枝 (武庫川女子大学) Chie Sawatari	武 野 明 義 (岐阜大学) Akiyoshi Takeno
	趙 顯 或 (釜山大学校) Hyun Hok Cho	登 阪 雅 聡 (京都大学) Masatoshi Tosaka	花 田 美和子 (神戸松蔭女子学院大学) Miwako Hanada
	久 田 研 次 (福井大学大学院) Kenji Hisada	堀 場 洋 輔 (信州大学) Yohsuke Horiba	吉 水 広 明 (名古屋工業大学大学院) Hiroaki Yoshimizu

Flexural Properties of Cristobalite Spherical Particle Filled Epoxy Resin

Keishi Naito^{*1}, Ryohei Otani^{*1}, Yoshihide Adachi^{*1},
and Kisaragi Yashiro^{*1}

^{*1} Faculty of Engineering, Gifu University, 1-1 Yanagido,
Gifu 501-1193, Japan

Several reports of applications utilizing a cristobalite, one of the eight crystal forms of silica, began to appear over the past dozen years. In these reports, a cristobalite is used as a filler of a composite material, however mechanical properties of cristobalite filled hard resin have not been reported. Therefore, the flexural properties of a cristobalite spherical particle-filled epoxy resin was investigated in this research. First, the flexural modulus of an amorphous silica spherical particle-filled epoxy resin (A-SiO₂/EP) and a cristobalite spherical particle-filled epoxy resin (C-SiO₂/EP) were equal and both were higher than that of their matrix (epoxy resin: EP). Moreover their values increased as the volume fraction of filler increased. Furthermore the measured values were higher than the theoretical values, however the tendency were largely in agreement. Theoretically, the elastic modulus of the C-SiO₂/EP is almost equal to that of the A-SiO₂/EP up to approximately 90 vol%. Next, the flexural strength of the A-SiO₂/EP and the C-SiO₂/EP were equal and both were lower than that of the EP. Moreover their values decreased as the volume fraction of filler increased. Since the measured values were lower than the predicted value of perfect adhesion and higher than the predicted value of non-adhesion, the interfacial adhesion is between perfect adhesion and non-adhesion. The influence of thermal stress on the flexural strength of the A-SiO₂/EP and the C-SiO₂/EP were equal and slight. Thus, it was revealed that the flexural properties of the C-SiO₂/EP equals to that of the A-SiO₂/EP. From the viewpoint of mechanical property, this research showed a possibility of a cristobalite as a new filler for a composite material. **J. Fiber Sci. Technol.**, 74(11), 221-228 (2018) doi 10.2115/fiberst.2018-0031 ©2018 The Society of Fiber Science and Technology, Japan

会告 2018

The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 74, No. 11 (November 2018)

開催年月日	講演会・討論会等開催名(開催地)	掲載頁
2018. 11. 21(水)	「高機能・高性能繊維の基礎と用途展開」講座(東京都・日刊工業新聞社本社地下1階セミナールーム(第2会議室))	A8
11. 27(火)	日本化学連合シンポジウム 1)「国際決議: 持続可能社会(SDGs)をめざす科学技術の課題」(東京都・化学会館7階ホール)	A7
11. 29(木)	第42回先端繊維素材研究委員会講演会・繊維加工研究委員会関西委員会講演会ーより美しく健康に生きるための科学と技術ー(宇治市・京都大学宇治キャンパス、生存圏研究所)	A4
12. 1(土)	第49回「感性研究フォーラム」講演 AIと感性(大阪市・大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)中会議室1)	A5
12. 5(水) ~ 7(金)	第45回炭素材料学会年会(名古屋市・名古屋工業大学)	A7
12. 6(木)	繊維の応用講座「東京オリンピック・パラリンピックを支えるマテリアルデザイン」ー新たな機能、性能が求められる素材技術、加工技術、デザイン等ー(東京都・工学院大学新宿キャンパス)	A3
12. 6(木) 7(金)	第33回ジオシンセティックシンポジウム(東京都・地盤工学会 JGS 会館)	A7
12. 10(月)	第166回講演会 バイオインスパイアード技術と成形加工ー生物模倣から革新的技術ー(大阪市・大阪産業創造館 研修室 AB)	A8
12. 11(火)	講習会「静電気の利用と制御」ーリスクアセスメント、災害防止、最新計測技術、帯電対策材料、半導体製造工程における応用ー(東京都・東北大学東京分室)	A7
12. 11(火)	特別セミナー 人生100年時代に向けた製品開発: 第2弾ー化粧品および健康食品を中心にー(大阪市・大阪産業技術研究所 森之宮センター)	A7
12. 25(火)	繊維学会関東支部・ナノファイバー技術戦略研究委員会2018年度合同講演会(東京都・東京工業大学大岡山キャンパス)	A6
12. 26(水)	日本化学連合シンポジウム 2)「大学の未来をどう描くか: 国立大学法人統合等」(東京都・化学会館7階ホール)	A7
2019. 1. 10(木) 11(金)	教育講座「つくれる」と「はがす」の新技術ー分子接合と表面制御ー(川崎市・かながわサイエンスパーク内 講義室)	A8
1. 16(水)	第167回講演会 プラスチック成形加工に役立つ分析技術(東京都・東京工業大学 大岡山キャンパス 西9号館コラボレーションルーム)	A8
	繊維学会誌広告掲載募集要領・広告掲載申込書	2010年6月号
	繊維学会定款(2012年4月1日改訂)	2012年3月号
	Individual Membership Application Form	2012年12月号
	繊維学会誌報文投稿規定(2012年1月1日改訂)	2014年1月号
	訂正・変更届用紙	2014年3月号

「繊維学会誌」編集委員

編集委員長	土田 亮(岐阜大学)
編集副委員長	髭谷 要(和洋女子大院) 出口 潤子(旭化成(株))
編集委員	植野 彰文(KBセーレン(株)) 大江 猛(大阪産業技術研究所) 大島 直久((一社)日本染色協会) 金 翼水(信州大学)
	澤田 和也(大阪成蹊短期大学) 杉浦 和明(京都市産業技術研究所) 高崎 緑(京都工芸繊維大院) 谷中 輝之(東洋紡(株))
	田村 篤男(帝人(株)) 西田 幸次(京大院) 西村 高明(王子ホールディングス(株)) 増田 正人(東レ(株))
	村上 泰(信州大学) 山本 洋(三菱ケミカル(株)) 吉田 耕二(ユニカトレーディング(株))
顧問	問 浦川 宏(京都工芸繊維大院) 松下 義弘(繊維・未来塾幹事)

2018年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
繊維の応用講座	2018年12月6日(木)	工学院大学新宿キャンパス (東京都新宿区)
2019 学術ミキサー	2019年1月11日(金)	和洋九段女子高校 (東京都千代田区)

2018 年度繊維学会各賞授賞候補者募集要項

当学会では、功績賞、学会賞、技術賞、論文賞、奨励賞、紙・パルプ論文賞を設け、一般会員より広く推薦(応募)を求めています。2018 年度も例年通り、各賞の表彰を行いたく受賞候補者の推薦または応募を頂きますようお願い申し上げます。なお、論文賞は、一般公募をせず、論文賞選考委員によりその年の繊維学会論文誌(JFST)に掲載されました論文から選考されます。

推薦(応募)書類は、所属支部長または学会事務局へ期限までに提出をお願いします。

- ・推薦(応募)書類はホームページ <http://www.fiber.or.jp/> の学会賞に掲示してありますので、ダウンロードしてご利用ください。
- ・会員(維持会員、賛助会員を含む)は受賞候補者の資格を有し、自薦・他薦を問わない。
- ・推薦(応募)書類の提出期限は 2018 年 12 月 25 日(火)迄です。
- ・歴代受賞者はホームページ <http://www.fiber.or.jp/> に掲載しています。

1. 繊維学会功績賞

- ① 対象：原則として、受賞年(2019 年)の 4 月 1 日において満 60 歳以上の本会会員で、多年にわたり繊維学会の発展に顕著な業績をあげた者、または繊維科学あるいは繊維工業の発展に優れた業績をあげた者。
- ② 表彰の件数：原則、5 件以内。
- ③ 表彰状および賞牌の授与。

2. 繊維学会賞

- ① 対象：原則として、受賞年(2019 年)の 4 月 1 日において満 51 歳未満の本会会員で、繊維科学について独創的で優秀な研究を行い、さらに研究の発展が期待される研究者。
- ② 表彰の件数：原則、2 件以内。
- ③ 表彰状、賞牌および副賞の授与。

3. 技術賞

- ① 対象：本会会員(維持・賛助会員を含む)で、繊維に関する技術について、優秀な研究、発明または開発を行い、繊維工業の発展に貢献した個人またはグループ。
- ② 表彰の件数：原則として、技術部門 3 件以内、市場部門 1 件以内。
- ③ 表彰状および賞牌の授与。

4. 論文賞

- ① 対象：本会会員(維持・賛助会員を含む)で、繊維科学および繊維技術に関し、その年(2018 年 1 月号～12 月号)の本会論文誌(JFST)に論文を発表した研究者。
- ② 表彰の件数：3 件以内。
- ③ 表彰状、賞牌および副賞の授与。

5. 奨励賞

- ① 対象：原則として、受賞年(2019 年)の 4 月 1 日において満 36 歳未満の本会会員で、繊維科学もしくは繊維技術について優秀な研究を行い、今後も継続して期待ができる新進気鋭の研究者。
- ② 表彰の件数：原則として、3 件以内。
- ③ 表彰状、賞牌および副賞の授与。

6. 紙・パルプ論文賞(事前に事務局へお問い合わせください)

- ① 対象：原則として、受賞年(2019 年)の 4 月 1 日において満 40 歳未満の本会会員で、過去 5 年間に本会論文誌(JFST)に論文 2 編以上を発表した新進気鋭の研究者。
- ② 推薦(応募)書類は、学会事務局へ期限までに提出をお願いします。
- ③ 表彰の件数：原則として、1 件以内。
- ④ 表彰状、賞牌および副賞の授与。

問合せ先

本部 一般社団法人 繊維学会事務局

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

TEL: 03-3441-5627 FAX: 03-3441-3260 E-mail: office@fiber.or.jp

繊維の応用講座

『東京オリンピック・パラリンピックを支えるマテリアルデザイン』 — 新たな機能、性能が求められる素材技術、加工技術、デザイン等 —

2020年に開催される東京オリンピック、パラリンピックでは、日本人アスリートたちの健闘を祈りつつ、様々な業界が、究極の新しい機能をもった素材、技術の開発を行ってきています。アスリートにとって着用感、軽量化などのマテリアルデザインが重要なテーマとなりますが、東京での開催では、夏場の暑さ対策に関しても十分な準備が肝要と思われます。

今講演では、最近のトレンドに沿った話題性のある素材技術、加工技術、デザイン改良等について講演していただきます。参考になるお話が聞けるといいますので、会員諸氏の皆様のご参加をお待ちしています。

主 催：一般社団法人 繊維学会

日 時：2018年12月6日(木) 9:45～16:30 (受付開始時間 9:15 から)

場 所：工学院大学新宿キャンパス 5階 A-0514室

(東京都新宿区西新宿1-24-2) 〈交通〉新宿駅西口より徒歩5分

— プログラム —

10:00～10:50 『2020東京オリンピックに向けたトライアスロン選手の暑熱対策』

(公財)日本トライアスロン連合・文化学園大学 森谷 直樹

複合競技であるトライアスロンは自然と対峙するスポーツであるため多様な気象環境のもとで行われる。東京オリンピックでは暑熱環境下に晒されることが予想されるため、こうした条件下でのパフォーマンス発揮を高めるべく、どのような対策を講じているのかその一部をご紹介します。

10:50～11:40 『セルロースナノファイバーの応用事例』

星光PMC(株) 黒木 大輔

セルロースナノファイバーはサステイナブル・軽量・高強度という特徴を持ち、種々の検討が進められている。本講演ではスポンジゴムやゴムへの応用事例を紹介する。

11:40～13:00 昼 食

13:00～13:50 『(仮)ウェアラブルを支える銀めっき導電性繊維“AGposs”』

ミツフジ(株) 三寺 秀幸

13:50～14:40 『アスリート用義足技術開発紹介 ～2020年最大の通過点とその先へ～』

ミズノ(株) 宮田 美文

14:50～15:40 『暑熱環境に挑む、放熱素材“Coolist D-Tec”について』

(株)デサント 新居 茉莉

“いらぬ熱を逃がす”暑さを軽減するために、汗により、風により、衣服内の余分な熱を「放熱」する機能Coolist D-Tec(クーリストDテック)。快適な衣服用コンディションを実現します。暑熱環境に挑むための放熱素材に関する研究開発についてご紹介致します。

15:40～16:30 『(仮)トップアスリートが要求するクーリング機能』

(株)アシックス 福田 誠

※応用講座終了後に、講師を交えた交流会(名刺交換会)を予定しております。

定 員：100名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費：正会員・企業会員(維持・賛助会員含む)：15,000円

企業非会員：18,000円

大学官公庁関係会員：10,000円

大学官公庁非会員：14,000円

学生会員：3,000円

学生非会員：5,000円

申込方法：参加申込は繊維学会ホームページのイベント「応用講座」よりお願いします。

問合せ先：〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-9-208 繊維学会

TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260

E-mail:office@fiber.or.jp HP:http://www.fiber.or.jp/

第 42 回先端繊維素材研究委員会講演会・ 繊維加工研究委員会関西委員会講演会 — より美しく健康に生きるための科学と技術 —

主 催：(一社)繊維学会・先端繊維素材研究委員会(AFMc)、繊維加工研究委員会関西委員会

日 時：2018 年 11 月 29 日(木) 13:00～17:30

会 場：京都大学宇治キャンパス、生存圏研究所 木質ホール(〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄)
JR 奈良線または京阪宇治線、黄檗駅から徒歩 5～10 分

いつまでも若さや美しさを維持し、心身共に健康でありたいと思うのは万人に共通の願いです。そして、日本人の平均寿命は過去最高を更新し、2035 年には人口の 3 分の 1 が高齢者となると予想されています。高齢化社会の到来において、実寿命だけでなく、健康寿命を伸ばすことが国家レベルでの課題となっています。いつまでも若く美しく健康であるための科学・技術、あるいは、たとえ介護が必要となっても Quality of Life の向上のための科学・技術がますます重要になると考えられます。そこで、より美しく健康に生きるための科学と技術に関する講演会を企画いたしました。是非、ご参加のほど宜しくお願い申し上げます。

プログラム

13:00～13:50 「睡眠・健康と睡眠環境とのかかわり — 光・温熱・寝具環境の観点から — (仮題)」

京都工芸繊維大学 情報工学・人間科学系 小山恵美

13:50～14:40 「男だって誰だって綺麗になれる科学的根拠 — あなたは化粧品を正しく理解していますか —」

Sukai 美科学研究所 代表 菅沼 薫

14:40～15:30 「介護現場の不快臭と消臭抗菌抗アレルギー繊維の適性化」

大妻女子大学 家政学部 被服学科 水谷千代美

15:30～15:50 休憩

15:50～16:40 「健康な社会実現のためのスポーツ工学」

株式会社アシックス 取締役 西脇剛史

16:40～17:30 「女性の加齢による体型変化と科学的ものづくり」

株式会社ワコール 人間科学研究所 研究開発課 坂本晶子

定 員：約 50 名(先着順)

参加費：先端繊維素材研究委員会および繊維加工研究委員会会員 無料

(法人会員は会員と 1 名まで無料)、会員外 5,000 円

申込方法：2018 年 11 月 21 日(水)までに葉書、FAX または E-mail にて、氏名・所属・連絡先を記入の上、下記宛てお申込ください。

申込先：〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

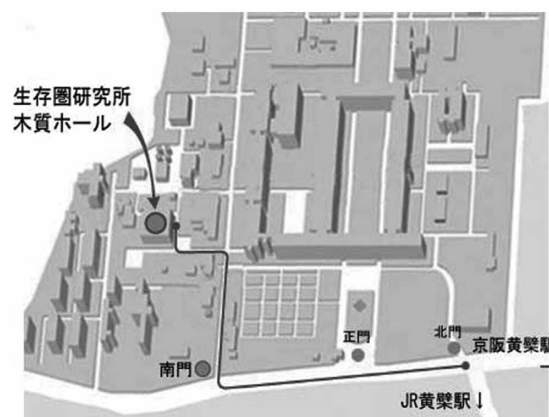
京都大学化学研究所

高分子物質科学領域内 AFMc 係

TEL：0774-38-3142

FAX：0774-38-3146(AFMc 事務局直通)

E-mail：zaibutu2@scl.kyoto-u.ac.jp



第49回「感性研究フォーラム」講演 AIと感性

主催：繊維学会研究委員会「感性研究フォーラム」

協賛：一般財団法人 日本繊維製品消費科学会、一般社団法人 日本色彩学会、一般社団法人 色材協会、
一般社団法人 日本家政学会

日時：2018年12月1日(土) 13:00~16:00

場所：大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)中会議室1

ドーンセンターへのアクセス：<http://www.dawncenter.or.jp/top/index.jsp>

京阪「天満橋」駅下車。東口方面の改札から地下通路を通して1番出口より東へ約350m。

地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ約350m。

JR東西線「大阪城北詰」駅下車。2番出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m。

マップ：<http://www.dawncenter.or.jp/shisetsu/map.html>

プログラム：

13:00 受付

13:30 開会挨拶

神戸松蔭女子学院大学 徳山 孝子
(研究委員会「感性研究フォーラム」委員長)

13:30~14:30 コミュニケーションⅠ(講演)

『ファッションのデジタル化の現状と未来』

クチュールデジタル株式会社 代表取締役社長 森田 修史
ファッション・オン・デマンドをコンセプトに、ITの活用によって、個々の好みに合わせた究極のカスタマイズを実現することにより可能となった、在庫を必要としない「B to I(individual:個人)」ビジネスの今後の限りのない広がりを紹介していきます。また、ファッション向け「感性AI」を搭載した最新ベータアプリも特別にご覧いただきます。

14:30~15:30 コミュニケーションⅡ(講演)

『Robotic architecture』

大阪産業大学 デザイン工学部 建築環境デザイン学科 助手 松原 優磨
近年の建築分野ではAIの発達に伴い、「コンピューテーション・デザイン」「デジタルファブリケーション」が主流となってきているが、実際それらが生産性や効率性に特化して用いられ、建築の本質には結びついていないのが現実となっている。私の研究では建築の歴史からAIを用いた「ロボット×身体×建築」のRobotic architectureをテーマとしている。講演では世界的におこなわれているAIと建築の事例と共に私の研究内容を紹介したい。

15:30~15:40 休憩

15:40~16:30 コミュニケーションⅢ(パネルディスカッション)

司会 (株)デサント R&D センター

藤原 一彦

パネリスト クチュールデジタル株式会社 代表取締役社長

森田 修史

大阪産業大学 助手

松原 優磨

(有)スタイリングオフィス・コア代表

高田 敏代

定員：40名

参加費：一般3,000円、学生1,000円、研究委員会会員・協賛団体関係者1,000円

申込：参加申込は必要ありません。当日、受付でお支払いください。

問合せ先：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

一般社団法人 繊維学会(内)感性研究フォーラム事務局

TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260 E-mail:office@fiber.or.jp

繊維学会関東支部・ナノファイバー技術戦略研究委員会 2018 年度合同講演会

本年度、繊維学会関東支部とナノファイバー技術戦略研究委員会は合同で講演会を開催します。皆様奮ってご参加ください。

主 催：一般社団法人 繊維学会 関東支部およびナノファイバー技術戦略研究委員会

日 時：2018 年 12 月 25 日(火) 14:30～16:40(受付：14:00 より)

会 場：東京工業大学大岡山キャンパス 大岡山西 9 号館 2 階コラボレーションルーム

(東京都目黒区大岡山 2-12-1、東急目黒線・大井町線大岡山駅下車)

詳細は <https://www.titech.ac.jp/maps/> をご覧ください。

参加費：繊維学会正会員・学生会員：無料

非会員：(一般)10,000 円, (学生)1,000 円

※繊維学会員でない方はこの機会に是非ご入会ください

入会の詳細については学会 HP (<http://www.fiber.or.jp/jpn/join/join.html>) をご覧ください。

申込締切：2018 年 12 月 10 日(月)

申込方法：申込書に必要事項をご記入の上、下記宛 E-mail または FAX でお申し込みください。

参加費は前納と致します。送金は上記締切日までに下記銀行口座へお振り込みください。

領収書は会場にてお渡し致します。別途請求書が必要な場合はご連絡ください。

プログラム：

14:30～15:30 「環境にやさしい新規抽出法による植物バイオマスの機能素材化」

産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門 敷中一洋

本講演では環境負荷が極めて少ない植物バイオマス抽出法「同時酵素糖化粉碎」に基づいたリグニン・多糖類の機能素材化についての講演者らの最新のトピックスについて概説する。

15:40～16:40 「メルトブロー不織布の製造技術と繊維形成機構」

東京工業大学 物質理工学院 宝田 亘

メルトブロー法は熔融樹脂を高温・高速の空気流で吹き飛ばす事で 1 工程で細繊維度の繊維からなる不織布を作製する技術である。本講演では、メルトブロー法の概要と、メルトブロープロセスにおける繊維の形成機構について解説する。

参加申込先：〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1-S8-27

東京工業大学物質理工学院材料系内

ナノファイバー技術戦略研究委員会事務局(松本英俊)

TEL/FAX: 03-5734-3640, E-mail: matsumoto.h.ac@m.titech.ac.jp

(銀行振込口座)

三菱 UFJ 銀行武蔵境支店(店番号 464) 普通口座：1703769

名義：ナノ研究会口齋藤 拓(ナノケンキュウカイグチ サイトウ ヒロム)

日本化学連合シンポジウム

1) 「国際決議：持続可能社会(SDGs)をめざす科学技術の課題」

主 催：(一社)日本化学連合
日 時：2018 年 11 月 27 日(火) 13:00~17:15
会 場：化学会館 7 階ホール
(千代田区神田駿河台 1-5)

2) 「大学の未来をどう描くか：国立大学法人統合等」

主 催：(一社)日本化学連合
日 時：2018 年 12 月 26 日(水) 13:00~17:00
会 場：化学会館 7 階ホール
(千代田区神田駿河台 1-5)

1)、2)のシンポジウムの参加申込及び詳細情報は、
URL：<https://www.jucst.org/entry.php#20181127>
を参照ください。

第 45 回炭素材料学会年会

主 催：炭素材料学会
日 時：2018 年 12 月 5 日(水)~7 日(金)
会 場：名古屋工業大学(名古屋市昭和区御器所町)
プログラム：特別講演、特別セッション、インターナ
ショナルセッション、口頭・ポスター発
表ほか

詳細は炭素材料学会年会サイトを参照ください。

問合せ先：炭素材料学会事務局
TEL: 03-5389-6359
E-mail: tanso-post@bunken.co.jp
炭素材料学会ヘルプデスク
FAX: 03-5227-8632
E-mail: tanso-desk@bunken.co.jp

第33回ジオシンセティックスシンポジウム

主 催：国際ジオシンセティックス学会日本支部
日 時：2018 年 12 月 6 日(木)、7 日(金)
会 場：地盤工学会 JGS 会館(文京区千石 4-38-2)
プログラム：JC-IGS の ホーム ページ <http://www.jcigs.org/topnews.htm> を参照ください。
問合せ先：中央大学理工学部都市環境学科 平川大貴
TEL: 03-3817-1798
E-mail: hirakawa@civil.chuo-u.ac.jp

講習会「静電気の利用と制御」

～リスクアセスメント、災害防止、最新計測技術、
帯電対策材料、半導体製造工程における応用～

主 催：(一社)静電気学会
日 時：2018 年 12 月 11 日(火) 9:30~17:30
会 場：東北大学東京分室
(東京都千代田区丸の内 1-7-12
サピアタワー 10 階)

プログラム：講演 5 件

詳細はホームページを参照ください。

問合せ先：静電気学会事務局
(文京区本郷 2-38-13 樋口ビル)
TEL: 03-3815-4171 E-mail: iesj@iesj.org

特別セミナー 人生 100 年時代に 向けた製品開発：第 2 弾 ～化粧品および健康食品を中心に～

主 催：(一社)大阪工研協会
後 援：(地独)大阪産業技術研究所
協 賛：日本化粧品技術者会
日 時：2018 年 12 月 11 日(火) 9:30~16:35
会 場：大阪産業技術研究所 森之宮センター
(大阪市城東区森之宮 1-6-50)

プログラム：講演 5 件

腸内環境研究、機能成分研究から機能性表示食品の
開発まで 森下仁丹(株) 川上 宏智
化粧品用機能性油剤の開発事例 日本精化(株) 清水 透
超高齢社会に向けた還元型コエンザイム Q10 の取
り組み (株)カネカ 藤井 健志
皮膚洗浄剤における機能成分対流技術の開発 ライオン(株) 水野 義隆
茶カテキン、コーヒークロロゲン酸の健康機能 花王(株) 安永 浩一

問合せ先：大阪工研協会講習会事務局
TEL: 06-6962-5307
E-mail: info@osakaira.com

第 166 回講演会 バイオインスパイアード技術と成形加工 ～生物模倣から革新的技術～

主 催：プラスチック成形加工学会
日 時：2018 年 12 月 10 日(月)
会 場：大阪産業創造館 研修室 AB
(大阪市中央区本町 1-4-5)
プログラム：5 件

第 167 回講演会 プラスチック成形加工に役立つ分析技術

主 催：プラスチック成形加工学会
日 時：2019 年 1 月 16 日(水)
会 場：東京工業大学 大岡山キャンパス
西 9 号館コラボレーションルーム
プログラム：講演 5 件
第 166 回、第 167 回講演会の詳細プログラムは
プラスチック成形加工学会のホームページ
<http://jspp.or.jp> を参照ください。
申込・問合せ先：
(一社)プラスチック成形加工学会事務局
(品川区大崎 5-8-5 グリーンプラザ五反田
第 2-205)
TEL: 03-5436-3822
E-mail: (申込専用): kikaku-event@jspp.or.jp

「高機能・高性能繊維の基礎と用途展開」講座

主 催：(一社)日本繊維技術士センター、日刊工業新聞社
日 時：2018 年 11 月 21 日(水) 10:00～17:00
会 場：日刊工業新聞社
本社地下 1 階セミナールーム(第 2 会議室)
(東京都中央区日本橋小網町 14-1)
プログラム：講演 3 件
・ナノファイバーの技術開発と用途展開
元東レ 八木健吉

・アラミド繊維 元東レ 村山定光
・炭素繊維 元東レ 井塚淑夫
詳細は日刊工業新聞ホームページ

<http://corp.nikkan.co.jp/seminars/> を参照ください。

問合せ先：(一社)日本繊維技術士センター
(JTCC 東京)
東京都中央区日本橋小伝間町 12-9
滋賀ビル 506
TEL: 03-5643-5112 FAX: 03-5614-0103
E-mail: jtcc-kt@nifty.com

教育講座 “つける”と“はがす”の新技术 — 分子接合と表面制御 —

主 催：(地独)神奈川県立産業技術総合研究所
日 時：2019 年 1 月 10 日(木)、11 日(金) 全日程 2 日間
会 場：かながわサイエンスパーク内講義室
(川崎市高津区坂戸 3-2-1)

募集人員：20 名

カリキュラム：

・カリキュラム編成講師
岩手大学 理工学部教授 平原英俊

1 月 10 日(木)

10:30～12:00 いま、どんなことが求められているか？接着・接合技術の課題
13:00～15:00 それぞれの理論－接着・接合の基礎
15:20～17:00 分子接合技術 1

1 月 11 日(金)

10:00～12:00 分子接合技術 2
13:00～14:30 分子接合技術 3
14:50～16:20 機能と設計、劣化
16:30～17:00 質疑応答・まとめ

問合せ先：受講料、参加申込などの問い合わせは下記
までお願いします。

(地独)神奈川県立産業技術総合研究所
教育研修グループ 矢野
TEL: 044-819-2033
E-mail: ed@newkast.or.jp